

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフブック(経営計画書)を全職員へ配布し、法人理念・中期計画・部門目標を明示している。全体会議や各種研修の場で理念を読み合わせ、日々の支援と理念がどのように結びついているかを確認する機会を設けている。理念を「掲げるだけでなく実践する」ことを意識し、ケアの振り返りにも活用している。			スタッフブックを作成し、法人理念や中期計画を職員に周知している。 職員が理念を読み合わせながら業務にあたっていることが報告された
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症流行以前は、地域行事への参加や茶話会の開催を通じて地域住民との交流を図っていた。現在は感染対策を優先し外出機会は限定的であるが、可能な範囲で地域情報の共有や電話連絡等を通じて関係継続に努めている。また、近隣保育園との交流会を実施するとともに、特別養護老人ホーム立縫の里と合同で行事を開催するなど、地域とのつながりを維持・発展できるよう取り組んでいる。	地区代表、市役所、包括支援センター、警察、歯科医師、家族代表等が継続的に参画し、地域課題や安全対策、行事等について意見交換を行っている。敬老祝賀会や夕涼み会、七夕行事、保育園との交流等を通じて地域とのつながりを維持し、ICT見学会や介護ロボット見学会を開催することで地域福祉の情報発信拠点としての役割も果たしている。		地域との交流が以前より減少している点が課題として挙げられた。 区長会や地域住民向けの施設見学会を開催してはどうかとの提案があった。 委員より区長の参加状況について確認があり、以前は参加いただいていたが、現在は辞退されているため、地区代表の立場で委員に参画いただいていることを説明した。 回覧板などを活用し、地域住民が施設を知る機会を作ることが望ましいとの意見が出た。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営状況・活動内容・事故報告・ヒヤリハット等を定期的に報告し、出席者からの意見や助言を記録している。いただいた意見は職員会議で共有し、改善策の検討につなげている。	毎回、利用状況、事故報告、感染状況、医療連携、研修実施状況を報告し、委員からの意見を基に改善策を検討している。転倒・誤薬事故については臨時会議を開催し、手順見直しや声出し確認、センサー設置等の具体策を実施している。感染対応、ノーリフティングケア、ICT活用等についても会議で共有し、継続的な質向上に繋げている。		会議で出た意見を施設運営の改善に活かしている。 概ね適切に機能しているとの評価であった。
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村担当者とは日常的に連絡を取り合い、制度改正や運営上の相談を行っている。推進会議への出席を通じて事業所の現状を共有し、助言を受けている。	日向市担当者が会議に出席し、事業計画、加算算定、感染対策、研修体制等について情報共有を行っている。集団指導への参加報告や運営基準遵守について確認を受けながら、行政と連携し適正な運営に努めている。		行政主導のグループホーム見学会などに参加しており、行政との連携は十分に図られているとの意見があった。

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止に関する研修を実施し、具体的禁止行為について確認している。玄関施錠の必要性がある場合は、理由・時間・代替策を検討し、身体拘束に該当しないよう慎重に判断している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員より、研修を通してどのような学びがあったのか質問があり、職員会議においてスピーチロック(言葉による拘束)を防ぐ研修を実施し、「立たないで」「待ってください」などの言葉を見直し、代替となる声かけの方法を学んでいることを報告した。 また、学んだ内容を職員が意識できるよう、代替の言葉を掲示するなど職員間で共有し、日常のケアに活かしていることを説明した。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年1回以上の虐待防止研修と自己点検アンケートを実施している。気になる言動はその都度管理者へ報告し、早期是正に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会や研修を実施している。 チェックリストやアンケートを用いて職員の意識向上を図っている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度や日常生活自立支援事業について研修を実施し、必要時には家族や包括支援センターと連携して活用している。			契約時の説明は行われているが、家族が十分理解しているかについては課題があるのではないかとの意見があった。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は時間を十分に確保し、重要事項説明書を用いて丁寧に説明している。質問しやすい雰囲気づくりに努め、理解確認を行っている。			契約時の説明は行われているが、家族が十分理解しているかについては課題があるのではないかとの意見があった。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時・電話・アンケート・推進会議等を通じ意見を聴取し、記録に残し職員会議で共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの意見や要望には柔軟に対応している。 面会時間の調整など家族の希望に配慮した対応を行っている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月例会議・朝礼・個別面談で意見を聴取し、改善可能な事項は迅速に反映している。またビジネスチャットを導入している。また相談連絡できる体制を構築している。			職員との面談や意見交換の機会を設けている。

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ICT活用により業務負担軽減を図り、資格取得支援や面談を通じキャリア形成を支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜勤時間の見直しなど、職員の働きやすい環境づくりが進められている。ICTや介護ロボットの活用が職員負担軽減に繋がっている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修・外部研修参加を推進し、OJTとOFF-JTを組み合わせて力量向上を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間計画に基づき研修を受講している。リーダー研修や喀痰吸引研修などの受講実績がある。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県内市内のグループホームの見学や研修などに参加し、ほかの施設の取り組みや支援方法について情報交換を行い、自施設のサービスの質の向上に努めている。			市内グループホームの見学会などを通して交流が行われている。他施設の取り組みを参考にすることで刺激を受けている。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お互いに助け合い、必要としている関係を構築しながらお互いにお礼を言い合えるような関係性づくりに努めている。			利用者同士で声を掛け合う関係が見られる。共同生活の中で支え合いが生まれている
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防対策を徹底しながら、地域の病院や商店街を利用し、地域とのつながりを維持しながら生活できるようサポートしている。外出が難しい場合、施設の電話機を使用して、馴染みの地域住民と連絡を取っている。	面会は感染状況に応じて対面・窓越し・制限付き対応を実施し、看取り期には回数制限を設けず家族との時間を確保している。生活歴に応じて量の使用や環境調整を検討するなど、本人のこれまでの暮らしを尊重している		家族との外出や面会などは状況に応じて対応している。感染症対策の影響で十分とは言えない部分もある。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いや希望を普段の会話や支援の中で聞いたり、気づいたりすることで思いに寄り添えるよう努めている。			本人の希望を聞きながら支援を行っている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント→計画→実施→評価→見直しのサイクルを実施。本人・家族の意向確認を行い、モニタリングは定期的実施している。	面会は感染状況に応じて対面・窓越し・制限付き対応を実施し、看取り期には回数制限を設けず家族との時間を確保している。生活歴に応じて量の使用や環境調整を検討するなど、本人のこれまでの暮らしを尊重している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の役割や楽しみを取り入れた計画を作成している。状況により達成が難しい場合もある。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子記録を活用し、睡眠データや排泄パターンを分析し、具体的支援方法へ反映している。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ICTを活用した記録を行っている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者や家族のその時の状況、訴えに応じてあらゆる職員が勤務にとらわれず対応している。	協力医療機関(和田病院・日向たかいクリニック)と毎月情報共有を行い、入院時の円滑対応体制を整備。歯科医師・管理栄養士による定期指導を実施。AI 要約、介護ロボット(離床センサー・heippad2・)を導入し、専門職連携と業務効率化を推進している。		訪問診療や ICT を活用し医療機関と連携している
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	コロナ感染予防対策を取りながら、地域の病院や商店街を利用し、地域とのかかわりを持ちながら生活できるよう支援している。	警察による交通安全講話、保育園との交流、ICT 見学会開催等を通じ地域との協働を実施。外国人技能実習生の日本語学習支援では地域ボランティアの協力を得ている。メディア出演等を通じ地域へ介護の取り組みを発信している。		地域資源の活用は十分ではないとの課題が挙げられた。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診時は職員が同行し、様子や状態を報告し、ご利用者が適切な医療を受けられるようサポートしている。高齢のご利用者が通院まで移動や待ち時間を軽減できるよう、訪問診療を提供する医療機関の情報提供も行っている。訪問診療医とはビジネスチャットを活用し多職種連携を強化している。			受診については基本的に家族対応で行っており、必要に応じて管理者等が同行し、医師と情報共有・連携を図っている。また、ビジネスチャット等を活用し、連携可能な医療機関とは速やかに情報共有を行うなど、円滑な医療連携に努めている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な面会や電話にて状態把握を行い、病院(SW,NS)や家族との情報交換に努めている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関との連携は行っているが、すべてのケースで退院後の受け入れが可能とは限らない。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取り指針を整備し、ACP(人生会議)の取り組みを進めている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を実施し、本人・家族と話し合いながら看取りケアを行っている。 看取り期には家族の面会回数が増えるなど、家族の思いにも寄り添いながら最期まで安心して過ごせる支援に努めている。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計画的に緊急時対応研修や心肺蘇生法訓練を実施し、応急手当や初期対応について全職員が実践的に学ぶ機会を設けている。急変時の役割分担や連絡体制についても定期的に確認し、迅速な対応ができるよう体制を整えている。また、協力医療機関である 日向たかいクリニックおよび和田病院 と毎月情報共有を行い、ICT を活用したビジネスチャットにより 24 時間相談・報告が可能な体制を構築している。急変時には速やかに医療機関と連携し、適切な医療につなげられるよう努めている。			夜勤職員にも利用者の状態や注意事項が分かりやすいよう、申し送り内容を整理した連絡表を作成し情報共有を行っている。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に 2 回、夜間や日中の状況を想定した避難訓練を実施し、消防署、消防団、防災機器会社の協力を得ている。職員全員が適切に避難誘導ができるよう定期的な訓練を行っている。また、職員の安否確認を確実にを行うために、日常的に訓練を実施している。	避難訓練、安否確認訓練、非常用発電機整備を実施。地震時はチャットツールで安否確認を行い、感染症流行時は出入口分離、換気徹底、医療機関連携を強化している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練等を定期的に行い、災害時の対応確認を行っている。地域との連携として消防団員への参加案内を行ったこともあるが、都合により参加には至らなかった。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活歴や既往歴を考慮し、声掛けや呼び方に細心の注意を払っている。また、SNS 投稿時には個人情報同意書を確認した上で情報を投稿している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの尊厳を守るケアに努めている。家族代表より、「日頃のケアは十分に配慮されている」との意見があった。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのペースで過ごせるよう配慮している。どうしたいかを尋ね、本人に合わせている。			尊厳を守るケアを行っている。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立は季節感を大切に、可能な範囲で利用者と一緒に配膳や片付けを行っている。誕生日や季節行事に合わせた行事食を取り入れ、食事が楽しみとなるよう工夫している。また、毎月管理栄養士による食事・栄養に関する勉強会を開催し、職員の栄養管理に対する知識向上を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士と連携し食事内容を検討している。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子システムを使用して、利用者の食事摂取量や水分摂取量を把握し、栄養補助食品や本人の好みに合った食品を提供している。			本人の嗜好に合わせた対応を行っている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを促し、声掛けを行い時には介助している。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問歯科の支援を受け、利用者の口腔ケアの充実に努めている。 また、歯科医師・歯科衛生士による年2回の口腔ケア研修を実施し、職員が参加することで口腔ケアの知識・技術向上に取り組んでいることが報告された。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子システムを使用し、排せつのパターンや習慣を把握して声掛けや誘導を行っている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援を意識した排泄支援を行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2日おきに入浴になっているが、本人の希望や気持ちに沿って対応し、入浴時間もそれぞれに合わせている。			利用者の状態に合わせて入浴を行っている。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの生活パターンで生活できるよう声掛けや支援を行っている。食事や入浴の声掛けは行うが本人が準備がきたり、ホールにでてくるまで待っている。寝る体制やマットなどを使用し、安眠できるよう配慮している。			無理に就寝や起床を促すのではなく、本人の生活リズムを尊重した支援を行っている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬システムを活用し、内服情報の共有と誤薬の防止に取り組んでいる。薬の内容や副作用については、朝のミーティングや会議を通じて広く周知し、全職員が把握できるように配慮している。また、症状の変化に関する記録も行っている		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師と連携し、状態の変化に応じて服薬内容の調整等も含めた服薬管理を行っている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の嗜好に沿ったできることや楽しみごとを一緒に考え、試しながら行っている。裁縫や家事、塗り絵などこれまでの生活を考えながら提供し、役割がもてるよう支援している。	好きだったこと興味をもって取り組める事を一緒に考え実施。日々役割をもって生活できるよう取り組んでいる。		家事や園芸などを取り入れている。

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策を講じた上で短時間外出を実施。今後は個別外出計画の作成を検討している。	安全確保を前提に散歩支援や行事参加を実施。徘徊リスクに対してはセンサーや見守り体制を強化し、本人の活動機会を確保しながら安全との両立を図っている。		感染症の影響もあり十分に実施できていない。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望により、財布や現金を所持されている。買い物にいったときは、自分で支払いをし、買い物を楽しんでもらったり、お金をもつことで安心していただいている。			利用者がお金を使う機会が少ない。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時々、家族や親せきに電話をしたり、年賀状やお手紙がだせるよう支援している。			電話や年賀状などで家族との交流を支援している。 家族代表より、「今年は施設から年賀状をいただき、とても感動した」との意見があった。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物の内部は一人ひとりの身体機能や分かる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共有の空間が、利用者にとって不快やこんらんをまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレ内にテーブルを設置し職員が軽介助で排泄介助できるようにしている。共有空間は整理されており、居心地よく過ごせるように常に職員みんなで気づきを話し合い、工夫している。季節に応じた掲示物や置物を配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援機器を活用している。 福祉用具のファンレストテーブルをトイレ内に設置し、排泄時に身体を支えることで腹圧をかけやすくするなど、自立した排泄支援に活用している。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を日々確認し、可能な範囲で生活リズムや活動内容を選択できるよう支援している。			本人の希望に応じて参加を支援している。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント情報を基に、生活歴や趣味をケアに反映している。			友人の訪問などの交流はある。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のバイタル測定や体調観察、生活状況の記録を基に、かかりつけ医へ適宜報告・相談を行い、早期対応に努めている。訪問診療を行っている 日向たかいし		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部サービス(マッサージなど)を利用している。

				<p>クリニックとはICTを活用したビジネスチャットを導入し、24時間相談・報告が可能な体制を整えている。</p> <p>また、訪問歯科や訪問リハビリマッサージを活用するとともに、協力医療機関である和田病院とは毎月1回の情報共有の機会を設け、多職種連携のもと健康面・医療面・機能面の維持向上を図っている。</p> <p>状態変化時には速やかに医療機関と連携し、利用者が安心して生活を継続できる医療支援体制を構築している。</p>			週2回のマッサージを楽しみにされている利用者もあり、日々の生活の楽しみや安心感につながっている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	起床・食事・入浴など可能な限り従来の生活習慣に合わせている。			起床時間も個々に異なり、早い方では5時頃、ゆっくりされる方は8時頃など、それぞれのペースに合わせて生活できるよう配慮している。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<p><input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	自室に写真・家具・思い出品を持ち込めるよう配慮している。		<p><input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	本人の持ち物を居室に持ち込んでいる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	感染状況を踏まえつつ、季節行事や敷地内散歩などの外出機会を確保している。地域のお祭りや行事への参加について本人から希望があった場合には、家族の協力を得ながら参加できるよう支援している。本人の意向を尊重し、安全面に配慮しながら外出の機会を確保できるよう努めている。	敬老祝賀会、夕涼み会、七夕行事、クリスマス会等を開催し、本人の体調や希望に応じて参加支援を行っている。看取り期や体調変化時も本人・家族の意向を確認しながら柔軟に対応している。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	役割(洗濯物たたみ等)を持っていただいている。			洗濯など職員と一緒にやっている。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	利用者様同士交流が図れる席の配慮に努めている。		<p><input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	利用者同士の声掛けや交流が見られる。これまで居室で過ごすことが多かった利用者も、食堂ホールへ出る機会が増え、

							他利用者との関わりが見られるようになってきている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	地域のお祭りや行事への参加について本人から希望があった場合には、家族の協力を得ながら参加できるよう支援している。感染状況を踏まえつつ、昨年より地域との交流を段階的に再開しており、近隣の まんまる保育園 との交流活動を開始している。今後も本人の意向を尊重しながら、地域とのつながりを継続できるよう取り組んでいく。	保育園との交流、地域行事、見学会開催等を通じ地域住民との関わりを持つ機会を確保している。家族代表や地域委員の意見を運営に反映し、地域との双方向の関係づくりに努めている。		地域との交流は十分ではないという意見があった。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向や生活歴、日々の体調観察・記録を基に、権利擁護を軸とした安心・安全な暮らしを継続的に支えている。ICT を活用した医療機関との 24 時間相談体制や定期的な情報共有、訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリ等との多職種連携により、健康面および生活機能の維持向上を図っている。 また、地域行事への参加支援や保育園との交流など地域とのつながりを継続し、運営推進会議での意見や助言を具体的な改善につなげながら、本人が安心してその人らしく暮らし続けられる環境づくりに取り組んでいる。	ICT 活用による迅速な対応、医療連携体制、事故防止対策、認知症ケアの統一等により安心できる生活環境を整えている。外国人職員を含めた温かな関わりや行事の充実により、家庭的な雰囲気の中でその人らしい生活が継続できるよう支援している。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね安心して生活できる環境が整っているとの評価であった。